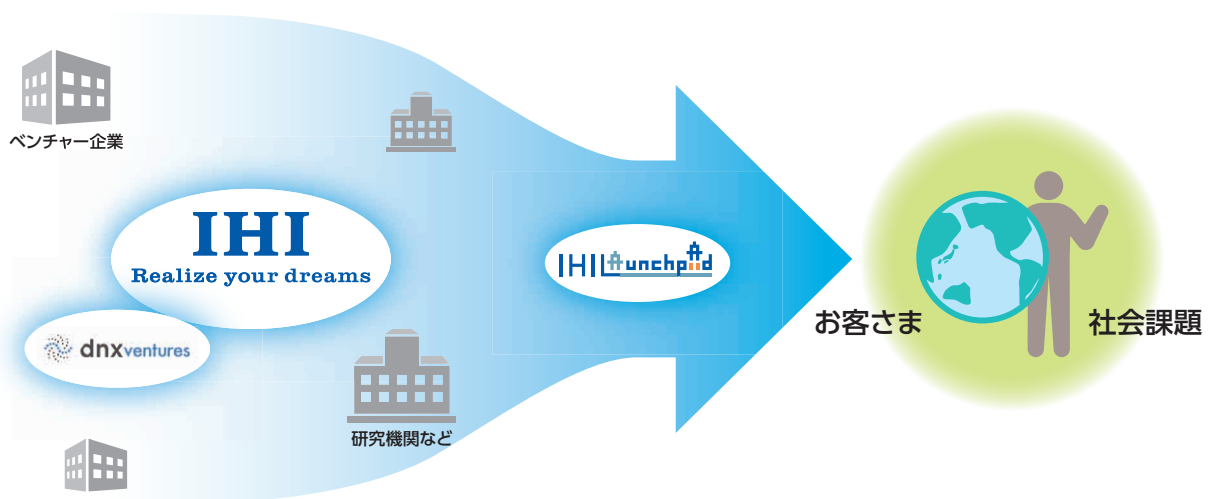


お客さまの価値につなげる 協業の取り組み

シリコンバレーを舞台としたベンチャーとの オープンイノベーション

複雑化、不確実化する世界においてお客さまの課題を解決していくには IHI グループ内の力だけでは限界がある。シリコンバレーのベンチャーとの協業の拠点を開設し、ソリューションの提供を開始した。スピード感をもった事業開発が早くも実を結びつつある。



IHI グループのオープンイノベーション活動

現在、持続可能な社会を築くため、脱炭素や低炭素、省エネなどの環境対策、防災や持続可能な街づくりなどのインフラ対策、少子高齢化による労働人口低下にも対策が求められている。

世界各国の経済活動に目を移すと、アメリカでは世界金融危機以降の景気回復が継続している。一方、中国ではインフラ投資や消費が鈍化し、この影響でアジア諸国の中国向けの輸出が減速している。さらに、ヨーロッパでは、ドイツの経済成長率の低下やイギリスでの投資が低迷しており、世界経済は複雑化と不確実性が増してきている。

お客さまを取り巻く社会環境や事業環境の変化に伴い、お客さまが求めるソリューションも変化が進んでおり、従来のやり方だけではなく新しいビジネスモデルも必要になってきている。このため、IHI グループ

も IoT をはじめとした技術の進歩を取り入れながら、お客さまが新たな価値を創造するソリューションの提供を加速することが必要となっている。

シリコンバレー型オープンイノベーション

IHI グループがさまざまな社会課題に対応し、お客さまに価値を提供し続けるためには、内部リソースだけではダイナミックな変化に対応することが困難になってきた。そのため、自社の強みと外部のさまざまな技術やノウハウとを組み合わせるオープンイノベーションの取り組みを進めている。その一環として、アメリカのベンチャーキャピタル Draper Nexus（現 DNX）と協力し、ベンチャー企業の技術やノウハウを活用して、お客さまのニーズにいち早く応えるソリューショ



協力先のベンチャーキャピタル
(社屋内のワーキングスペースに、複数のベンチャー企業が入居している)

ンの提供を始めた。

この Draper Nexus は、シリコンバレーにおいて老舗ベンチャーキャピタルとのつながりも深く、投資経験豊富なメンバーにより運営され優良なベンチャーへのアクセスが可能であった。また、日本企業とのつながりも深くベンチャー企業との協業サポートでも成功実績があり、IHI グループとして同地でオープンイノベーション活動を開始するには最適なパートナーであった。

デパレタイズシステムの開発

オープンイノベーションの一例として、IHI グループが提供する物流設備にアメリカシリコンバレーのベンチャー企業である Kinema Systems 社（現 Boston Dynamics 社）の物体認識技術を組み合わせ、お客様の課題を解決するソリューションを提供したケースがある。

物流分野における荷卸し（デパレタイズ）の作業は重労働であるため、作業者の定着率が悪く人材確保が困難で、無人化と省力化が急がれていた。ほかの作業の自動化が進むなかで、環境変化によらず、多種多様な荷物を瞬時に認識する技術の実現が困難なために、デパレタイズ作業は最後まで人に頼らざるを得ない作業の一つであった。これまでも自動デパレタイズシステムは存在するが、荷物の画像や積まれ方などの情報の事前登録が必要であること、画像認識に時間がかかることなどの課題があり、同システム適用の障害になっていた。特に、複数種類の荷物が混載されて

いる場合には困難さが増す。そのためお客さまによっては、せっかく導入したシステムをあまり活用しないケースもある。

IHI グループは、こうしたお客さまの課題に対し、Kinema Systems 社の AI および三次元ビジョンを活用した「IHI デパレタイズシステム」を開発した。Kinema Systems 社の AI による物体認識技術を導入することにより、事前の画像データの登録が不要となり、お客さまの手間を削減すると同時に、従来に比べ大幅に認識能力が高くなり、30%の処理能力向上を実現した。複数種類の荷物が混載されている場合にも適用できることから、お客さまからも好評をいただいている。

新たなサービスを創出し続けるために

デパレタイズシステムの例にみるように、ベンチャー企業の先進的な技術と IHI のシステム技術をうまく融合することにより、スピード感をもった事業開発を進めることができる。このように、ベンチャー企業との協業の実績を着実に上げることにより、オープンイノベーションにおけるシリコンバレーでの IHI グループのプレゼンスも向上してきている。こうした取り組みをさらに促進させることを目指し、シリコンバレーに IHI Launch Pad を立ち上げた。

ベンチャー企業と協業して開発を進めるとともに、シリコンバレーで IHI のプレゼンス向上による新たなサービスの創出が可能になっている。

また、IHI グループの技術と融合し新規サービスを創出するために、これまでに 1 000 件近いベンチャー企業の情報を調査してきている。衛星のデータ活用、VR/AR の活用をはじめ新たなサービスの提供を目指し協業の検討を進めている。

IHI グループ一丸となって、お客さまの課題を解決する独自のソリューションをいち早く提供する活動を推進していく。

問い合わせ先

株式会社 IHI

ソリューション・新事業統括本部

新事業推進部

電話（03）6204 - 7022

<https://www.ihi.co.jp/>